



式 辞

本日ここに、2024年度新潟青陵大学卒業証書・学位記授与式を挙行できますことを、教職員一同大きな喜びと誇りに思います。晴れてこの日を迎えられる卒業生・修了生の皆さん、まことにおめでとうございます。そして今日までみなさんを育くみ励ましてくださったご家族の皆様に関心からお祝いを申し上げます。

皆さんが入学してきた2021年は、入学式も2回に分けて実施。授業もA/B2グループに分かれての対面とリモートのハイブリッド授業でした。そんな制限の多い中で学生生活のスタートでしたが、しっかりと学びを修めた皆さん、ボランティア活動に情熱を傾け、大きな成果をあげた皆さん、十分な練習時間が取れない中でも、大会に参加し成果を出した皆さん。中でも、女子バスケットボール部は、北信越代表として2年続けてインカレ出場を果たしてくれました。困難な環境下でも、創意と工夫、忍耐と情熱により、多くのことを成し遂げてくれた皆さんと、それを支えてくれた教職員・ご家族の方がたに、改めて感謝申し上げます。

さて、皆さんは今、本学での学びを終え、社会に巣立っていかうとしています。皆さんが修めた学問の分野は、看護・福祉・心理と異なりますが、身につけたものは、それぞれの分野の専門的知識と技能であり、ケアする心です。人と関わり、多様な価値観を尊重し、人を支え、人生の質を高め、人を笑顔にすることで、専門的職業人としての使命を全うされることでしょう。いわば、皆さんが修めた学問は、人をしあわせにする「実学」です。

「しあわせ」のメカニズムの研究では、一時的なしあわせ「Happiness」と、持続するしあわせ「Well-being」をを区別しています。皆さんが「専門的職業人として人をしあわせにする」には、持続するしあわせ「Well-being」に焦点を当てるべきです。他者の「Well-being」に貢献するためには、自分の「Well-being」を高く保つ必要があります。しかし、予測不能な変化を起し続ける現代社会ではそれが難しいこともあります。どうすれば「Well-being」を高く保てるのでし

ようか。

それには「4つの力」が重要だとされています。第一に、希望を維持し、目標に向かって試行錯誤を繰り返す「道は見つかると信じる力」です。第二に、慣れない人や場に臆せず交わり、今持っているもので、「現実を受けとめて自信をもって踏み出す力」です。第三に、困難があっても乗り越えられるという自信を持ち「困難に立ち向かう力」です。第四に、物事の明るい面を見る前向きさで、複雑な状況を、ポジティブなストーリーとして捉え、「どんな状況も前向きに楽しむ力」です。「四つの力」を単語で表すと、Hope（希望）、Efficacy（自己効力感）、Resilience（レジリエンス）、Optimism（楽観性）です。これらの頭文字をとると、H・E・R・O（ヒーロー）となります。

卒業生・修了生の皆さん、これからの地域社会をリードする専門的職業人として、臆することなく一歩踏み出し、予測もしない困難な状況に陥っても、物事の明るい面を見る前向きさと、ケアの心を忘れず、解決する道があることを信じ、「4つの力」HEROを高めながら、生き抜いてください。これを私からの餞の言葉とします。

2025年3月18日

新潟青陵大学
学長 木村 哲夫